

アドバンスラボ預り金属残量表示の仕組み

アドバンスラボでの納品書への預り金属の残量表示の仕組みについてご説明いたします。医院別料金に医院ごとの預り金属を登録して、医院管理詳細画面の右で入庫の入力をしてから、日々受注入力にて該当の預り金属を入力すると入庫量の計から受注入力の数量の計(使用量)を引いた値が残量として納品書に表示、印刷されます。納品書印刷時に、入庫量は納品日の日付の前日までに入庫日の計が計算され、使用量は納品日の日付までの受注入力が入力した数量の計が計算されて残量が計算表示されます。

例:8月21日の納品日の納品書に印刷される残量は

入庫量は8/20入庫日までの計



使用量は8/21納品日までの計

※必ず納品日の前日までの入庫日の入庫入力と、納品日までの使用した預り金属を受注入力ですべて入力してから納品書を発行してください。納品書を発行した後に関連する預り金属の入力や数量を修正した場合に、再度その納品日の納品書を発行すると違う残量になります。

※使用金属の数量入力での入力端数以下の誤差や铸造時の熔融金属の飛散やルツボへの付着、スプルーカット時の金属飛散などでソフトでの表示残量と実際の金属の残量との間に誤差が出る可能性があります。定期的に誤差を何らかの方法で補正する必要があります。

【納品書印刷時に入庫/使用内容を確認したい時は】

納品書印刷の確認画面で医院名をクリックすると医院管理詳細画面が開きます。

入力した全ての入庫、使用の計、残量

金属名クリックで納品日時点での確認できる画面へ移動できます。

※預り金属名クリックで履歴確認画面へ移動します。

左図のように確認したい預り金属名をクリックすると、その金属の入庫や使用履歴が確認できる画面へ移動します。医院管理詳細画面の右下には入力した全ての入庫、使用の計と残量が表示されています。